

「Japan Mobility Show2025」 出展のお知らせ

社会と共に変わる。社会を共につくる。



ブースのイメージ図

三菱電機モビリティ株式会社（代表取締役社長 田中 和徳、本社：東京都千代田区）は、10月30日（木）から11月9日（日）まで東京ビッグサイトで開催される「Japan Mobility Show 2025」に出展します。

当社は「社会と共に変わる。社会を共につくる。」というコンセプトのもと、社会の変化に柔軟に適応し、多彩なパートナーと連携しながら、交通事故、地球環境への負荷、労働力不足等の社会課題の解決に向けた取り組みをご紹介します。また、当社の高精度な機器（コンポーネント）を通じたデータの取得と活用による価値拡充の事例もご紹介します。

会期に合わせて特設ウェブサイトも公開いたしますので併せてご覧ください。

主な展示内容

<メインステージ>

- ◆当社が実現を目指す未来の豊かなモビリティ社会を疑似体験できる、インタラクティブな映像コンテンツ

<安心安全&快適ゾーン>

- ◆運転中のドライバーの表情、顔向きや視線、生体情報からわき見や居眠り、体調異常などの状態を検知して、ドライバーに対する警報や車両の制御を行う先進運転支援システム「Driver Monitoring System（以下、DMS）」を体験できるデモカーの展示
- ◆DMSの新たな価値拡張ソリューションとして、DMSとドライブレコーダーを組み合わせるとドライバーの運転記録や危険運転履歴を管理者に提供する法人向け「DMS機能付きドライブレコーダー」や、人に寄り添ったユーザーインターフェースでまるでもう一人の同乗者のように乗員を見守る「車室内パートナーロボット」の展示

<インフラ&環境保全ゾーン>

- ◆カーボンニュートラルの実現に貢献する電気自動車向けの次世代パワーユニットの展示
- ◆持続可能な交通インフラの維持管理に向け、路面や道路標識の劣化などを検知、分析する米国向けサービス「Urban Hawk」の紹介

<ウェルビーイングゾーン>

- ◆労働力不足の解消に向けて、公道や商業施設、工場など屋内外をまたぐさまざまな環境に対応し、多様なフィールドでの配送が可能な自動配送ロボットサービス「Cartken」の展示

出展ブースについて

<出展ブース>

東京ビッグサイト 東7ホール E7105

お問い合わせ先

三菱電機モビリティ株式会社
経営企画ユニット 経営企画部 コーポレートコミュニケーション戦略課
〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号
TEL : 03-3218-2913
E-mail : qa.melmb@nh.MitsubishiElectric.co.jp